

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫の受益証券 ロ、ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ、ブラジル・レアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫	ブラジル・レアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	①主として、マザーファンドを通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債（※１）およびオーストラリアの小型株式等（※２）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、マザーファンドを通じて、ニュージーランドの小型株式等（※２）にも投資します。 ※１ 投資環境によっては、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫に投資せず、直接、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することがあります。 ※２ 小型株式等とは、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、ＤＲ（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。 ②設定当初の債券と株式等への投資比率はおおむね６：４とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。 ③ブラジル国債への投資にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心とします。 ④小型株式等への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ、小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。 ロ、投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。 ハ、組入候補銘柄の中から、ＰＥＲやＰＢＲ等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。 ニ、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ⑤上記①～④にかかわらず、基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。以下⑤において同じ。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。 ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率	無制限
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫の株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）
≪2021-01≫

運用報告書（全体版）
第４期
（決算日 2018年9月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）≪2021-01≫」は、このたび、第４期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組入比率	公 社 債 組入比率	投資信託 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	円	%	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年9月28日)	7,609	10	△23.8	7,977	△20.2	30.29	△33.4	43.4	48.1	4.9	21,559
2 期末 (2016年9月26日)	9,256	10	21.8	7,802	△ 2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6	13,470
3 期末 (2017年9月26日)	11,600	10	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0	7,682
4 期末 (2018年9月26日)	10,542	10	△ 9.0	9,476	0.9	27.71	△21.5	40.3	49.8	4.3	4,808

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：11,600円

期 末：10,542円（分配金10円）

騰落率：△9.0%（分配金込み）

■組入ファンドの当期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	△16.2%	51.3%
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	4.3%	48.3%

■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、オーストラリア株式市況は堅調に推移したものの、主にブラジル・リアルおよびオーストラリア・ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） <<2021－01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率 比	公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 証 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2017年 9 月26日	円 11,600	% －	9,393	% －	円 35.31	% －	% 34.8	% 55.4	% 5.0
9 月末	11,608	0.1	9,378	△0.2	35.39	0.2	34.7	55.3	5.0
10月末	11,400	△ 1.7	9,622	2.4	34.47	△ 2.4	35.5	53.5	5.4
11月末	11,427	△ 1.5	9,537	1.5	34.53	△ 2.2	35.3	53.3	5.6
12月末	11,648	0.4	10,035	6.8	34.07	△ 3.5	35.5	51.8	5.9
2018年 1 月末	11,578	△ 0.2	9,885	5.2	34.20	△ 3.1	35.6	53.6	5.7
2 月末	11,160	△ 3.8	9,473	0.9	33.02	△ 6.5	35.3	55.5	5.8
3 月末	10,997	△ 5.2	8,792	△6.4	32.13	△ 9.0	34.4	55.1	5.2
4 月末	10,945	△ 5.6	9,128	△2.8	31.43	△11.0	35.5	54.4	5.4
5 月末	10,645	△ 8.2	9,214	△1.9	29.17	△17.4	38.7	50.5	4.8
6 月末	10,563	△ 8.9	9,430	0.4	28.61	△19.0	40.2	49.7	4.9
7 月末	10,882	△ 6.2	9,649	2.7	29.75	△15.7	39.4	51.7	5.0
8 月末	10,322	△11.0	9,570	1.9	26.74	△24.3	40.5	48.8	4.9
(期末)2018年 9 月26日	10,552	△ 9.0	9,476	0.9	27.71	△21.5	40.3	49.8	4.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.9.27~2018.9.26)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、長期金利が上昇（債券価格は下落）しました。期首から2017年末にかけて、米国の金利上昇や年金改革法案の成立を巡る懸念により、長期金利は上昇しました。2018年に入ってから、ルラ元大統領の控訴審の結果（第一審の有罪判決が覆らず）や中央銀行による追加利下げで、長期金利は低下しました。4月以降は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新興国からの資金流出懸念を背景に長期金利が上昇し、5月末にかけて行なわれたトラック運転手らによるストライキも加わり、金利上昇が加速しました。期末にかけては、10月の大統領選挙を目前に控えて、主要候補の支持率の推移と選挙後の財政政策に関する思惑から、金利は上下しました。

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2018年1月上旬にかけて、良好な中国の経済指標の発表や世界の株式市場が堅調に推移する中で投資家心理が改善したことを受けて、上昇しました。4月にかけては、米国の雇用統計をきっかけとした長期金利の上昇などを受けて一時的に下落する局面も見られましたが、資源価格の上昇や米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどが支援材料となり、おおむねボックス圏での推移となりました。期末にかけては、オーストラリアのGDP（国内総生産）が市場予想を上回ったことや、米国とメキシコとのNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を巡り2国間合意を発表するとの報道を受けて貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、おおむね上昇基調となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。2017年後半のブラジル・レアルは、米朝対立で地政学的に緊張した局面や、米国の税制改革進展への期待感により米ドル独歩高となった局面では売られましたが、好調な株価に支えられ、おおむね横ばい圏で推移しました。2018年以降は、世界的な株価下落の中で、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念および政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、利上げ観測が後退したことなどから下落して始まりました。2018年1月にかけては、オーストラリアの小売売上高や雇用者数が市場予想を上回ったことなどから上昇しました。その後は、米国の長期金利の上昇を受けて世界的に株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米国との関係悪化懸念からトルコ情勢への警戒感が高まったことなどから、下落基調となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100％に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。賃金の緩慢な伸びや、ガス、電気料金などの値上げ圧力の増大などを受けた消費への影響、米国トランプ政権の政策の不透明感や北朝鮮情勢などの政治動向などが懸念材料ですが、大都市部における公共インフラ（社会基盤）の建設などの公共投資は支援材料となる見通しです。今後は、北朝鮮を巡る情勢やトランプ政権の政策がオーストラリアの主要貿易相手国である中国と商品市況にどのような影響を与えるかなどに注目していきます。引き続き、企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッド（「アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッド」に商号変更しました。）に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

ポートフォリオについて

(2017.9.27~2018.9.26)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

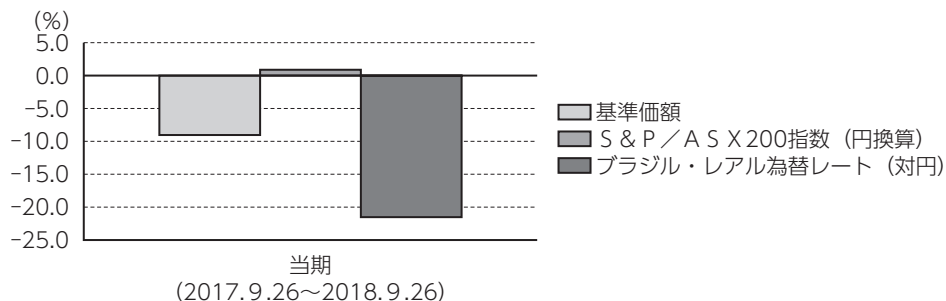
期中の投資行動としては、設備投資の増加から恩恵を受けることが期待される鉱業サービス関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、コーポレート・ガバナンス体制に懸念があるとみられるソフトウェア関連銘柄などを売却しました。

当期は、低コスト市場の製造拠点や強固な流通経路を有するARB CORP（一般消費財・サービス）、優位な市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR（一般消費財・サービス）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月27日	2018年9月26日
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.09
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,308

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	471.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	4.69
(d) 分配準備積立金	1,842.01
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,318.20
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,308.20

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

短期的には、米中貿易摩擦や資源価格の動向などに左右される展開になると考えられます。一方で、低金利環境が継続していることや世界的に経済が堅調であることなどが、支援材料になるとみています。また、大型の液化天然ガスプロジェクトの増加やインフラ支出の増大なども、支援材料になる見通しです。今後実施される予定の選挙の動向については、各産業にさまざまな影響を与えることも予想されるため、注視する必要があると考えます。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行なってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.9.27～2018.9.26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	200円	1.803%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,063円です。
(投 信 会 社)	(98)	(0.886)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(96)	(0.864)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.019)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	15	0.138	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0.121)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	217	1.962	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル国債 マザーファンド《2021-01》	—	—	1,051,846	1,326,500
ダイワ・オーストラリア 小型株式マザーファンド	—	—	803,482	1,069,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,191,685千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,267,906千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	0.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
	千口	千口	千円	千円
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	3,251,493	2,199,647	2,469,104	2,469,104
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	2,483,923	1,680,440	2,324,216	2,324,216

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	2,469,104	50.7
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	2,324,216	47.7
コール・ローン等、その他	75,763	1.6
投資信託財産総額	4,869,084	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝81.94円、1 ニュージーランド・ドル＝75.08円、1 ブラジル・レアル＝27.71円です。

(注3) ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》において、当期末における外貨建純資産（3,550,765千円）の投資信託財産総額（3,570,543千円）に対する比率は、99.4%です。
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,294,592千円）の投資信託財産総額（2,354,486千円）に対する比率は、97.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,869,084,783円
コール・ローン等	75,763,333
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド 《2021-01》(評価額)	2,469,104,492
ダイワ・オーストラリア小型株式 マザーファンド(評価額)	2,324,216,958
(B) 負債	60,094,883
未払収益分配金	4,561,895
未払解約金	5,686,745
未払信託報酬	49,622,739
その他未払費用	223,504
(C) 純資産総額(A－B)	4,808,989,900
元本	4,561,895,201
次期繰越損益金	247,094,699
(D) 受益権総口数	4,561,895,201口
1万口当り基準価額(C／D)	10,542円

* 期首における元本額は6,622,812,644円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,060,917,443円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,542円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月27日 至2018年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 23,461円
受取利息	4,571
支払利息	△ 28,032
(B) 有価証券売買損益	△ 366,916,466
売買益	184,048,079
売買損	△ 550,964,545
(C) 信託報酬等	△ 111,127,039
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 478,066,966
(E) 前期繰越損益金	722,763,741
(F) 追加信託差損益金	6,959,819
(配当等相当額)	(2,143,676)
(売買損益相当額)	(4,816,143)
(G) 合計(D + E + F)	251,656,594
(H) 収益分配金	△ 4,561,895
次期繰越損益金(G + H)	247,094,699
追加信託差損益金	6,959,819
(配当等相当額)	(2,143,676)
(売買損益相当額)	(4,816,143)
分配準備積立金	1,050,834,586
繰越損益金	△ 810,699,706

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：21,770,300円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	215,089,687円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,143,676
(d) 分配準備積立金	840,306,794
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,057,540,157
(f) 分配金	4,561,895
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,052,978,262
(h) 受益権総口数	4,561,895,201口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

■運用指図権限の委託先の商号変更について

運用指図権限の委託先であるアバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドが商号をアバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに変更しました。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

運用報告書 第5期（決算日 2018年9月26日）

（計算期間 2017年9月27日～2018年9月26日）

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・レアル建てのブラジル国債
運用方法	①主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

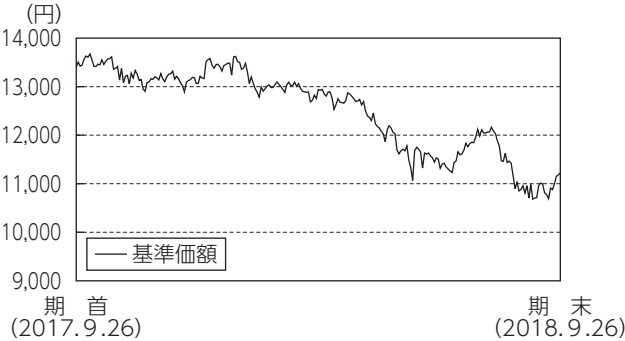
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		ブラジル・レアル為替レート		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 (参考指数)	円	騰 落 率	
(期首)2017年 9月26日	13,402	—	35.31	—	97.6
9 月末	13,441	0.3	35.39	0.2	97.4
10月末	13,081	△ 2.4	34.47	△ 2.4	95.4
11月末	13,161	△ 1.8	34.53	△ 2.2	94.8
12月末	13,166	△ 1.8	34.07	△ 3.5	94.0
2018年 1 月末	13,356	△ 0.3	34.20	△ 3.1	95.3
2 月末	13,046	△ 2.7	33.02	△ 6.5	97.4
3 月末	12,926	△ 3.6	32.13	△ 9.0	96.3
4 月末	12,738	△ 5.0	31.43	△11.0	96.2
5 月末	11,677	△12.9	29.17	△17.4	94.8
6 月末	11,406	△14.9	28.61	△19.0	95.0
7 月末	12,048	△10.1	29.75	△15.7	96.7
8 月末	10,704	△20.1	26.74	△24.3	97.5
(期末)2018年 9月26日	11,225	△16.2	27.71	△21.5	97.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,402円 期末：11,225円 騰落率：△16.2%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因になりましたが、債券価格の下落やブラジル・レアルの対円での下落により、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

期首から2017年末にかけて、米国の金利上昇や年金改革法案の成立を巡る懸念により、長期金利は上昇しました。2018年に入ってから、ルラ元大統領の控訴審の結果（第一審の有罪判決が覆らず）や中央銀行による追加利下げで、長期金利は低下しました。2018年4月以降は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新

興国からの資金流出懸念を背景に長期金利が上昇し、5月末にかけて行なわれたトラック運転手らによるストライキも加わり、金利上昇が加速しました。期末にかけては、10月の大統領選挙を目前に控えて、主要候補の支持率の推移と選挙後の財政政策に関する思惑から、金利は上下しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

2017年後半のブラジル・レアルは、米朝対立で地政学的に緊張した局面や、米国の税制改革進展への期待感により米ドル独歩高となった局面では売られました。好調な株価に支えられ、おおむね横ばい圏で推移しました。2018年以降は、世界的な株価下落の中で、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念および政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用 (保管費用) (その他)	20 (20) (0)
合 計	20

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル －	千ブラジル・レアル 45,079 (－)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1			1,434,591

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当		期			末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
ブラジル	千ブラジル・レアル 124,020	千ブラジル・レアル 125,094	千円 3,466,355	% 97.1	% －	% －	% 97.1	% －	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当		期			末			
区 分	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F		国 債 証 券	% 10.0000	千ブラジル・レアル 124,020	千ブラジル・レアル 125,094	千円 3,466,355	2021/01/01

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,466,355	97.1
コール・ローン等、その他	104,188	2.9
投資信託財産総額	3,570,543	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1 ブラジル・レアル＝27.71円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（3,550,765千円）の投資信託財産総額（3,570,543千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,570,543,224円
コール・ローン等	22,274,958
公社債(評価額)	3,466,355,106
未収利息	81,913,160
(B) 負債	355
その他未払費用	355
(C) 純資産総額(A－B)	3,570,542,869
元本	3,180,823,013
次期繰越損益金	389,719,856
(D) 受益権総口数	3,180,823,013口
1万口当り基準価額(C／D)	11,225円

* 期首における元本額は4,691,242,350円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,510,419,337円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）<<2021－01>> 2,199,647,655円、ツインアクセル（ブラジル国債＆世界小型株式）<<2021－01>>981,175,358円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,225円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月27日 至2018年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	390,937,049円
受取利息	390,954,265
支払利息	△ 17,216
(B) 有価証券売買損益	△1,194,339,290
売買益	4,544,913
売買損	△1,198,884,203
(C) その他費用	△ 7,819,684
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 811,221,925
(E) 前期繰越損益金	1,596,022,444
(F) 解約差損益金	△ 395,080,663
(G) 合計(D＋E＋F)	389,719,856
次期繰越損益金(G)	389,719,856

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2018年9月26日）

（計算期間 2017年9月27日～2018年9月26日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）
運 用 方 法	①主として、オーストラリアの小型株式等（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等（※）にも投資します。 ※小型株式等とは、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、ＤＲ（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。 ②投資にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。 ハ. 組入候補銘柄の中から、ＰＥＲやＰＢＲ等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株 式 組 入 制 限	無制限

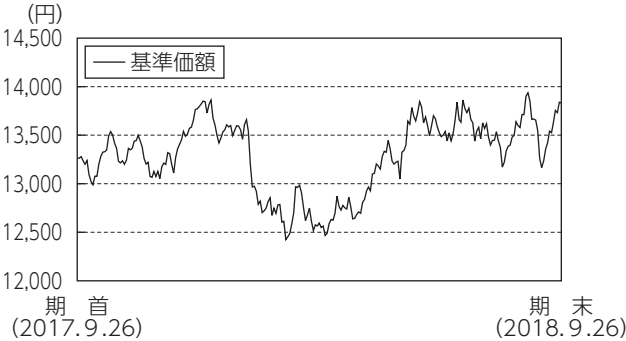
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (円換 算)		株 式 組 入 比 率	投資信託 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2017年 9 月26日	13,261	—	9,393	—	81.1	11.6
9 月末	13,237	△0.2	9,378	△0.2	81.2	11.7
10 月末	13,201	△0.5	9,622	2.4	82.2	12.4
11 月末	13,213	△0.4	9,537	1.5	81.8	13.0
12 月末	13,845	4.4	10,035	6.8	80.1	13.3
2018年 1 月末	13,458	1.5	9,885	5.2	82.1	13.2
2 月末	12,786	△3.6	9,473	0.9	82.9	13.5
3 月末	12,549	△5.4	8,792	△6.4	81.0	12.2
4 月末	12,696	△4.3	9,128	△2.8	82.4	12.5
5 月末	13,325	0.5	9,214	△1.9	83.3	10.4
6 月末	13,502	1.8	9,430	0.4	84.8	10.4
7 月末	13,569	2.3	9,649	2.7	85.6	10.8
8 月末	13,852	4.5	9,570	1.9	81.8	9.8
(期末)2018年 9 月26日	13,831	4.3	9,476	0.9	83.3	8.9

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) S & P / A S X 200 指数 (円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,261円 期末：13,831円 騰落率：4.3%

【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は、オーストラリア株式市況が堅調に推移したことが主なプラス要因となり、上昇しました。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2018年1月上旬にかけて、良好な中国の経済指標の発表や世界の株式市場が堅調に推移する中で投資家心理が改善したことを受けて、上昇しました。4月に

かけては、米国の雇用統計をきっかけとした長期金利の上昇などを受けて一時的に下落する局面も見られましたが、資源価格の上昇や米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどが支援材料となり、おおむねボックス圏での推移となりました。期末にかけては、オーストラリアのGDP (国内総生産) が市場予想を上回ったことや、米国とメキシコとのNAFTA (北米自由貿易協定) 再交渉を巡り2国間合意を発表するとの報道を受けて貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、おおむね上昇基調となりました。

○為替相場

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、利上げ観測が後退したことなどから下落して始まりました。2018年1月にかけては、オーストラリアの小売売上高や雇用者数が市場予想を上回ったことなどから上昇しました。その後は、米国の長期金利の上昇を受けて世界的に株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米国との関係悪化懸念からトルコ情勢への警戒感が高まったことなどから、下落基調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

賃金の緩慢な伸びや、ガス、電気料金などの値上げ圧力の増大などを受けた消費への影響、米国トランプ政権の政策の不透明感や北朝鮮情勢などの政治動向などが懸念材料ですが、大都市部における公共インフラ (社会基盤) の建設などの公共投資は支援材料となる見通しです。今後は、北朝鮮を巡る情勢やトランプ政権の政策がオーストラリアの主要貿易相手国である中国と商品市況にどのような影響を与えるかなどに注目していきます。引き続き、企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッド (「アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッド」に商号変更しました。) に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってもらいます。

◆ポートフォリオについて

期中の投資行動としては、設備投資の増加から恩恵を受けることが期待される鉱業サービス関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、コーポレート・ガバナンス体制に懸念があるとみられるソフトウェア関連銘柄などを売却しました。

当期は、低コスト市場の製造拠点や強固な流通経路を有するARB CORP (一般消費財・サービス)、優位な市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR (一般消費財・サービス) などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。なお、当ファンドは主にオーストラリアの小型株式等を投資対象としていますが、参考指数はオーストラリアの代表的な指数として掲載しています。

《今後の運用方針》

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

短期的には、米中貿易摩擦や資源価格の動向などに左右される展開になると考えられます。一方で、低金利環境が続いていることや世界的に経済が堅調であることなどが、支援材料になるとみています。また、大型の液化天然ガスパロジェクトの増加やインフラ支出の増大なども支援材料になる見通しです。今後実施される予定の選挙の動向については、各産業にさまざまな影響を与えることも予想されるため、注視する必要があります。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行なっていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行なってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	6円
(株式)	(6)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	—
その他費用	13
(保管費用)	(10)
(その他)	(3)
合 計	19

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 11,940.63 (2,153)	千オーストラリア・ドル 7,764 (—)	百株 28,683	千オーストラリア・ドル 17,611
	ニュージーランド	百株 1,815 (430.29)	千ニュージーランド・ドル 897 (44)	百株 730	千ニュージーランド・ドル 80

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 — (—)	千オーストラリア・ドル — (—)	千口 844.5 (—)	千オーストラリア・ドル 2,060 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

■主要な売買銘柄
株 式

(2017年9月27日から2018年9月26日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
XERO LTD (ニュージーランド)	32.5	85,578	2,633	TECHNOLOGY ONE LTD (オーストラリア)	447.4	185,242	414
NETWEALTH GROUP LTD (オーストラリア)	130.7	75,111	574	FLETCHER BUILDING LTD (ニュージーランド)	245.2	129,495	528
PORT OF TAURANGA LTD (ニュージーランド)	181.5	69,641	383	INVOCARE LTD (オーストラリア)	85.7	115,840	1,351
MONADELPHOUS GROUP LTD (オーストラリア)	47.3	60,093	1,270	NIB HOLDINGS LTD (オーストラリア)	233.4	114,687	491
BEACH ENERGY LTD (オーストラリア)	390.3	58,701	150	ARB CORP LTD (オーストラリア)	68.4	110,179	1,610
COSTA GROUP HOLDINGS LTD (オーストラリア)	90.5	56,887	628	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	397.2	107,170	269
NEXTDC LTD (オーストラリア)	89.3	49,456	553	IRESS LTD (オーストラリア)	101.8	95,721	940
HUB24 LTD (オーストラリア)	38.863	43,900	1,129	FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	89.1	95,130	1,067
AIR NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	148.8	38,736	260	AUCKLAND INTL AIRPORT LTD (ニュージーランド)	167.4	81,219	485
BLACKMORES LTD (オーストラリア)	2.6	31,295	12,036	BAPCOR LTD (オーストラリア)	139.8	77,602	555

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国株式

銘 柄	期 首		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円	
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT	2,153	2,684	976	80,053	情報技術
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	1,300	1,482	902	73,953	不動産
XERO LTD	－	275	1,348	110,481	情報技術
NETWEALTH GROUP LTD	－	1,187	963	78,977	金融
HUB24 LTD	－	388.63	504	41,333	金融
LYCOPodium LTD	－	617	283	23,256	資本財・サービス
COSTA GROUP HOLDINGS LTD	－	743	507	41,582	生活必需品
CITADEL GROUP LTD/THE	－	399	311	25,501	情報技術
BEACH ENERGY LTD	－	3,903	796	65,241	エネルギー
FLETCHER BUILDING LTD	2,350	－	－	－	素材
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	1,886	1,023	1,413	115,845	ヘルスケア
SPARK NEW ZEALAND LTD	7,489	3,517	1,287	105,474	電気通信サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	670	－	－	－	一般消費財・サービス
CABCHARGE AUSTRALIA LTD	2,447	－	－	－	資本財・サービス
IRESS LTD	1,546	528	668	54,772	情報技術
INVOCARE LTD	1,417	775	943	77,283	一般消費財・サービス
MONADELPHOUS GROUP LTD	－	430	679	55,670	資本財・サービス
NIB HOLDINGS LTD	3,548	1,214	711	58,292	金融
AUB GROUP LTD	1,664	1,350	1,863	152,654	金融
AIR NEW ZEALAND LTD	2,612	1,388	395	32,413	資本財・サービス
ARB CORP LTD	1,620	1,093	2,121	173,836	一般消費財・サービス
BAPCOR LTD	3,594	2,279	1,677	137,441	一般消費財・サービス
BLACKMORES LTD	46	58	808	66,226	生活必需品
BRICKWORKS LTD	854	528	894	73,289	素材

銘 柄	期 首		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	オーストラリア・ドル	千円	
TECHNOLOGY ONE LTD	4,474	—	—	—	情報技術
NEXTDC LTD	—	893	578	47,415	情報技術
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	3,497	1,823	1,248	102,322	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通 貨 計	株数、金額 総額<比率>	43,167 18銘柄	28,577.63 23銘柄	21,885 <77.2%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	ニュージーランド・ドル	千円	
PORT OF TAURANGA LTD	—	1,815	943	70,860	資本財・サービス
NZX LTD	9,153	8,853.29	973	73,117	金融
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	株数、金額 総額<比率>	9,153 1銘柄	10,668.29 2銘柄	1,917 < 6.2%>	
ファンド合計	株数、金額 総額<比率>	52,320 19銘柄	39,245.92 25銘柄	— <83.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期 首	当 期	期 末	
	口 数	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	オーストラリア・ドル	千円
VIVA ENERGY REIT	773.7	438.1	963	78,975
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	705.6	394	953	78,128
BVWP TRUST	374.6	177.3	595	48,813
合 計	口 数 、 金 額 銘柄数<比率>	1,853.9 3銘柄	2,513 3銘柄	205,917 <8.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月26日現在

項 目	当 期	期 末
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,937,300	% 82.3
投資信託証券	205,917	8.7
コール・ローン等、その他	211,268	9.0
投資信託財産総額	2,354,486	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝81.94円、1 ニュージーランド・ドル＝75.08円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（2,294,592千円）の投資信託財産総額（2,354,486千円）に対する比率は、97.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,354,486,853円
コール・ローン等	165,272,126
株式(評価額)	1,937,300,404
投資信託証券(評価額)	205,917,514
未収入金	29,967,805
未収配当金	16,029,004
(B) 負債	30,187,880
未払金	30,187,388
その他未払費用	492
(C) 純資産総額(A－B)	2,324,298,973
元本	1,680,440,285
次期繰越損益金	643,858,688
(D) 受益権総口数	1,680,440,285口
1万口当り基準価額(C／D)	13,831円

* 期首における元本額は2,483,923,259円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は803,482,974円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）≪2021－01≫1,680,440,285円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,831円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月27日 至2018年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	88,315,260円
受取配当金	87,518,531
受取利息	815,374
支払利息	△ 18,645
(B) 有価証券売買損益	13,677,457
売買益	315,322,736
売買損	△301,645,279
(C) その他費用	△ 2,613,723
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	99,378,994
(E) 前期繰越損益金	809,996,720
(F) 解約差損益金	△265,517,026
(G) 合計(D＋E＋F)	643,858,688
次期繰越損益金(G)	643,858,688

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

《お知らせ》
■運用指図権限の委託先の商号変更について
運用指図権限の委託先であるアバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドが商号をアバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに変更しました。